

令和3年度小中一貫教育推進計画書

中学校区名	広中央中学校区
代表者所属校 校長氏名	呉市立三坂地小学校 森重 真由美

1 目指す児童生徒像

学びいっぱい・笑顔いっぱい・元気いっぱいの児童生徒の育成

「学びいっぱい」・・・すすんで学び、思いや考えを表現できる児童生徒

「笑顔いっぱい」・・・思いやりがあり、助け合いながら活動できる児童生徒

「元気いっぱい」・・・たくましい体と心で最後までやりきることができる児童生徒

2 育成を目指す資質・能力（具体の姿）

資質・ 設定し た能力	知識及び 技能	思考力、判断力、 表現力等	学びに向かう力、人間性等	
	【知識・ 技能】	【思考力・ 判断力・表現力】	【主体性】	【自尊心・ 協調する力】
後期	学んだ知識や技能を既習内容と関連付けて活用し、それらの有機的結合により「知の構造化」を図ることができる。	様々な資料や情報を取捨選択し、各教科等の既習事項と照らし合わせながら、根拠をもとに自分の考えを持ち、課題解決することができる。また、その成果を適切かつ効果的に発信することができる。	学ぶことに興味や関心を持ち、自己の学習活動を点検しながら、既習事項を活用するなどして、学び直しをしたり、試行錯誤を繰り返したりして、粘り強く自己を高めようとしている。学びを自己の進路実現と関連付け、見通しを持って取り組もうとしている。また、異文化へ理解を深めるとともに、郷土へのさらなる愛着を持つことができる。	学びを支える「たくましく豊かな心」を涵養するため、自己への理解を深めることで、かけがえのない自分を見出そうとし、他者とのかかわりを通して自分の視野を広げたり、考えを深めたりして学び続け、新たな価値を創造しようとしている。
中期	新しい知識や技能を習得して活用するなかで、それらのつながりを意識して学ぶことができる。	各教科等の既習事項や資料等を活用し、物事を多面的に分析・考察して課題解決し、その成果を提示することができる。	学ぶことに興味や関心を持ち、各教科等や教育活動で習得した知識や技能が、どれだけ身に付いているかを自覚しながら、学び直したり、試行錯誤を繰り返したりして、粘り強く取り組もうとしている。また、様々な教育活動を通して郷土に愛着を持ったり、異文化を理解しようとしたりしている。	学びを支える「たくましく豊かな心」を涵養するため、自分の個性が役立っていることを実感し、友達と助け合ったり、話し合ったりすることを通して、自分の視野を広げたり、考えを深めたりして学び続けようとしている。
前期	新しい知識や技能を習得し、それらを緩やかなつながりとして捉えることができる。	各教科等の既習事項や日常の事象と関連付けて物事を分析・考察し、課題解決したことを発表することができる。	授業や各教育活動の「めあて」に向かって自分なりに様々な工夫を行おうとしている。また、他の児童との対話を通して自らの考えを修正したり、立場を明確にして話したりしている。	友達と助け合ったり、話し合ったりすることで、自分が周囲に受け入れられていることや、役立っていることを実感し、自分の考えを深めたりもっと新しいことを学ぼうとしたりしている。

3 研究主題と設定理由

(1) 研究主題

主体的に学び、心豊かにたくましく生きる児童生徒の育成
—課題発見・解決学習と体験活動の推進を通して—

(2) 設定理由（校区の児童生徒の課題分析等）

本中学校区には、三坂地小学校と広小学校の2つの小学校がある。黒瀬川の下流に位置し、校区には自然豊かな地域と賑やかな商店街を持つ地域が存在する。校区の児童生徒は、明るく人なつっこい。歴史のある地区も多く、祭りなどの地域の行事も多い。児童生徒にとって一番身近である地域の特性を知り歴史を学ぶという体験をすることは、主体的に学ぶ意欲につながり、学力の向上や自尊感情の高揚が図れるのではないかと考える。そこで、各種調査等の分析に基づいて指導上の課題を明らかにし、小中が一貫して課題発見・解決学習と体験活動を推進していけば、児童生徒が主体的に学ぶ楽しさを実感し、自尊感情の高揚を図り、生きる力を育むことができるであろうという研究仮説を立て、研究主題を設定した。そのため本中学校区では「学力向上部会」「グローバルマインド育成部会」「心の元気部会」の3部会を設定し、仮説の検証に取り組んでいる。

本中学校区では「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「主体性」「自尊心・協調する力」の4つを、育成を目指す資質・能力と設定し、具体の姿を示した。

各部会との関わりは次のように設定している。「学力向上部会」のねらいは、「各教科等の授業を通して、各教科等における見方・考え方を働かせ、確かな学力を身に付けさせる。主体的・対話的で深い学びを創造する。」とし、「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」の向上を図るものとする。「グローバルマインド育成部会」のねらいは、「郷土を愛する心を育てるとともに、異なる価値観や文化を理解し、進んでコミュニケーションを図ることができる児童生徒を育成する。」とし、「主体性」「自尊心・協調する力」を育むものとする。「心の元気部会」のねらいは、体力の向上や学習規律の徹底の面から「自己の生き方を見つめ、よりよく生きようとする児童生徒を育成する。」とし、「自尊心・協調する力」の向上を図るものとする。

広島県教育委員会は主体的な学びを促進するため、総合的な学習の時間をはじめ、各教科等の学習において「課題発見・解決学習」を推進している。また、グローバルマインドや実践的なコミュニケーション能力の育成に向けて小学校からの系統的な「異文化間協働活動」を推進しており、本中学校区の取組は、県の取組にも沿うものとなっている。

本中学校区は「心の元気部会」の土台の上に「学力向上部会」と「グローバルマインド育成部会」を位置付け、自尊感情の高揚が学力の向上にも繋がるという考えの下、9年間を見通した教育として取組を行っている。

以上のことから、本研究テーマを設定した。

4 研究内容

(1) 研究の柱（テーマ）

◇ 学力向上部会

各教科等における見方・考え方を働かせることができるような発問を工夫し、ICTを活用する等して、主体的・対話的で深い学びを創造することにより、確かな学力を身に付けさせる。

◇ グローバルマインド育成部会

郷土を愛する心を育てるとともに、異なる文化や価値観を理解し、進んでコミュニケーション

ンを図ることができる児童生徒を育成する。

◇ 心の元気部会

自己の生き方を見つめ、よりよく生きようとする児童生徒を育成する。

(2) 研究内容

◇ 学力向上部会

① 主体的・対話的で深い学びの創造

- 単元を貫く課題の設定
- 課題発見・解決学習に向かわせる広中央中学校区授業スタイル
- 教科等のねらいに迫る発問の工夫
- ICTの活用

② 小・中の学びをつなぐ取組

- 中学校教員による小学校への乗り入れ授業（小学校5・6年生 体育科）
- 中学校の学力補充への小学校教員の参加
- 全国学力・学習状況調査の分析による具体的方策の立案（今年度は未定）

◇ グローカルマインド育成部会

① 郷土を愛する心の育成

- 総合的な学習の時間における郷土（人，自然，歴史等）を柱とした系統的な学習

② 異なる文化や価値観を理解し、進んでコミュニケーションを図る

- 総合的な学習の時間と英語科・外国語科・外国語活動等を関連付けた単元開発

③ 行事等の体験活動を通じた資質・能力の育成

- 行事等で育成を目指す資質・能力の具体の姿の設定，評価と振り返り

◇ 心の元気部会

① 生徒指導を軸にした小中連携

- 9年間を見通した学習規律マニュアルの作成
- 小・小間，小・中間で生徒指導の指導事項を連携
- 中学校生徒指導担当者による小学校高学年への乗り入れ指導

② 体力の向上に向けた取組

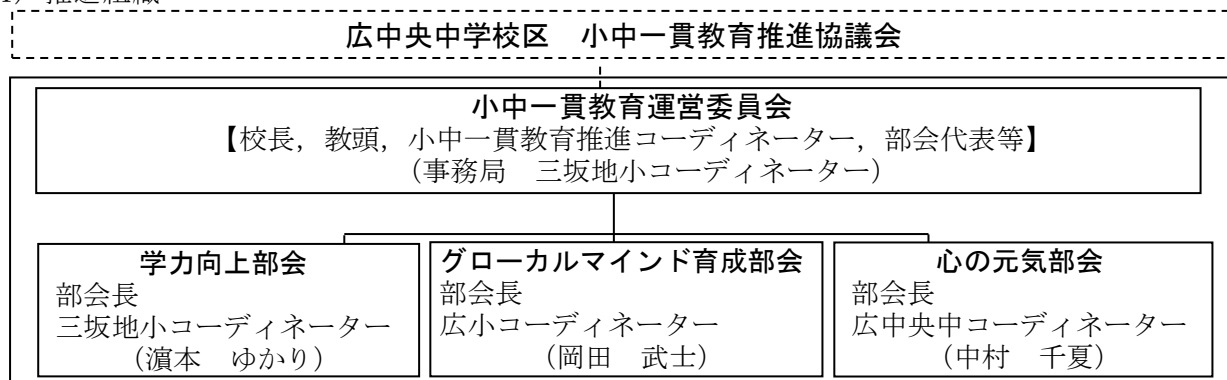
- くれ・チャレンジマッチ・スタジアムの実施
- 中学校野球部による小学校4年生への投球指導

③ 小中合同行事等による取組

- 栄養教諭による食育指導
- 小中合同あいさつ運動
- 小中合同クリーン活動
- 中学校吹奏楽部による小学校の運動会開会式での演奏

5 推進体制

(1) 推進組織



※部会構成（可能な限り下記の者が入るものとする）

学力向上部会・・・各校研究主任・教務担当

グローバルマインド育成部会・・・英語科・外国語科・外国語活動担当

総合的な学習の時間担当

心の元気部会・・・各校生徒指導主事，体力・運動能力向上コーディネーター

体験活動推進担当（合同あいさつ運動，クリーン活動）

(2) 一部教科担任制実施計画

ア 乗り入れ授業（中→小）

・小学校第5学年 体育科（週1回実施）

・小学校第6学年 体育科（週1回実施）

イ 小学校教科担任制等

6 見込まれる成果及び検証方法

(1) 見込まれる成果

各種調査等の分析に基づいて指導上の課題を明確にし，主体的な学びに向けて，小中が一貫して課題発見・解決学習と体験活動を推進していけば，児童生徒が主体的に学ぶ楽しさを実感し，自尊心の高揚を図り学力を向上させることができるであろう。

(2) 検証方法

・児童生徒意識調査 7月，12月（小中一貫アンケート，全学年）

・全国学力・学習状況調査（小6・中3）5月27日（木）

7 推進計画

月 日	内 容
4月20日	○第1回小中一貫教育部会（研究組織・今年度の取組等の確認，部会） ◎第1回小中一貫教育運営委員会（研究組織・今年度の取組等の確認）
6月上旬	○第2回小中一貫教育部会（研究授業：広小） ◎第2回小中一貫教育運営委員会
7月上旬 7月下旬	◆1学期 児童生徒アンケート実施及び分析 ○小中一貫夏季研修会（サテライト研修）
9月上旬	○第3回小中一貫教育部会（全国学力の分析交流・児童生徒アンケート交流） ◎第3回小中一貫教育運営委員会
10月上旬	○第4回小中一貫教育部会（研究授業：広中央中） ◎第4回小中一貫教育運営委員会
12月1日 12月上旬	●広地区クリーン活動 ◆2学期 児童生徒アンケート実施及び分析
2月	○第5回小中一貫教育部会（研究授業：三坂地小） ◎第5回小中一貫教育運営委員会 ○第6回小中一貫教育部会（取組のまとめ）
3月	◎第6回小中一貫教育運営委員会（取組のまとめと次年度の計画）

8 その他

○学期に1回，「小中一貫あいさつ運動」を実施する。

○学期に1回，「小中一貫だより」を発行する。